

令和7年度第2回多摩市障がい者差別解消支援地域協議会 会議録

にちじ 日時	れいわ ねん がつ にち きんようび 令和8年3月27日（金曜日） 18:30～20:30	ばしよ 場所	たましやくしよ かいぎしつ 多摩市役所 301・302会議室
しゅっせきしゃ 出席者 ※敬称略	いいん 委員	やしま にしもり だいにり みつはし みやはら さとう みやぎき おりかさ ふじよし 矢嶋、西森（代理）、三橋、宮原、佐藤（享）、宮崎、折笠、藤吉、 せ お なかはら 瀬尾、中原	
	しょうがい ふくしか 障害福祉課 (事務局)	ひらまつ あるが うつのみや うえの なかむら えのもと たなか たけだ 平松、有賀、宇都宮、上野、中村、榎本、田中、竹田	
けつせきしゃ 欠席者 ※敬称略	いいん 委員	せきや さとう すずき しのだ あげがみ 関哉、佐藤（弘）、鈴木、篠田、畔上	
きろくしゃ 記録者	じむきよく 事務局		
こうちく 項目	かいかい 開会		
	1 いいんしょうかい 委員紹介		
	2 しょうがいりかい だまごうざ 障害理解出前講座について		
	3 しょうがい しゃさべつ かん そうだん 障がい者差別に関する相談について		
	4 おち とりくみしょうきよう こんご とりくみよてい 主な取組状況・今後の取組予定について		
	5 た その他		
	へいかい 閉会		
			しょうさい 詳細
いいんしょうかい 1 委員紹介	しりよう 資料1	いいんめいぼ せつめい 委員名簿 説明	
		【事務局】 いちかわいいん たいにん さとうきよみ いいん あら しゅうにん 市川委員が退任、佐藤享美委員が新たに就任。	
しょうがいりかい 2 障害理解 だまごうざ 出前講座に ついて	しりよう 資料2	しょうがいりかい だまごうざ せつめい 障害理解出前講座について 説明	
		• けんりようごせんもんぶかい いいん さんか さんかしゃ りかい ふか 権利擁護専門部会の委員として参加した。参加者の理解を深めるのにとともよい取組。 より深い理解のために、当日災害時の質問があったことから、パルテノン多摩と市役所の ごうどう ひなんくんれん おこな 合同で避難訓練などを行うことができれば、障がい当事者にどんな配慮が必要か、どう うご 動けばよいかわかりやすくなる。	
		【事務局】 じぎょうしゃ じょうきよう 事業者の状況もあるが、スタッフの方のご不安の解消のために、どんなことができそ うか事業所にも共有して、検討していきたい。	
		• この講座で精神障がい当事者に対する合理的配慮について話した。限られた時間であ ったが多摩市の取組や当事者の話も直接聞ける良い機会。3月14日開催の市民企画 たまし とりくみ どうじしゃ はなし ちよくせつき よ きかい がつ にちかいさい しみんきかく 講座にも参加した。合理的配慮について街のお店の人にインタビューした動画が流れてお こうざ さんか こうりてきはいりよ まち おみせ ひとに いんたびゅう どうが なが り良かったため、今後の出前講座でも取り入れると街の様子がわかってよいと思う。また、 よ こんご だまごうざ と い まち ようす おも 市主催の会議の様子が流れていて合理的配慮がされている会議だと分かったため、その ししゅさい かいぎ ようす なが 動画を市公式YouTubeに掲載してもらえると嬉しい。	
		• だまごうざ ぐたいてき かんそう がつ にち しみんきかくこうざ どうが ないよう おし 出前講座の具体的な感想と3月14日の市民企画講座の動画の内容について教えてほし	

い。

【事務局】

出前講座参加者は18名。研修全体の満足度について、12345の満足度で5が一番高く、5名いた。満足度4では8名で、満足度3が5名。満足度2と1はいなかった。法的根拠についても役立つと感じた方は16名。全く役に立たなかったという意見はなかった。

今回の研修は2部構成。1部では、市より法的根拠の話。2部では当事者の方からお話いただいた。特に当事者の方のお話については、役立つと感じた人は9割以上、18名中17名。感想については、直接話を聞く機会が貴重だった、コミュニケーションの大事さが分かった、積極的に声かけをしていきたいなどの意見があった。

研修の長さについて適切というお話であったが、もう少し質問ができればよいというご意見もいただいた。研修の目的の一つでもあり、日頃の業務で抱えている不安について解消された方が1名、ある程度解消された方が14名、あまり変わらないと回答された方が3名であった。今回の研修の中で、研修生からの質問時間がとれなかったことが影響していると考えている。

・3月14日の市民企画講座で流した動画内容は、多摩市の合理的配慮の提供促進に係る助成金を活用したお店にインタビューしたもの。また、バス会社様にもご協力いただき、合理的配慮の研修などのお話をさせていただいた。いろいろな立場の方に登壇していただきありがたい。市と相談してYouTubeに掲載するなど見てもらえる方法を考えていきたい。

・当日は、社内のバリアフリー対応などについて紹介した。出来る限りのことはしたいと考えている。今後こういった機会があればよい。先ほど触れられた映像も市の取組内容がわかりやすくまとめられているため市民にも見てもらえるとよい。

・バス会社様のバリアフリーの様子なども今後インタビューをさせてもらったりして、ご協力いただけるといい。

3 障がい者差別に

関する相談について

資料3 障がい者差別に関する相談について 説明

・今回は継続案件のみであるため、進捗状況を報告してほしい。

【事務局】

7月の段階では、話し合いを設ける予定でありその後、3者での話し合いを行った。相談者からの要望を確認し、施設管理者から一定の回答をいただいた。引き続き相談を承っている。

4 主な取組状況・今後の取組予定について

資料4 主な取組状況・今後の取組予定について 説明

・社協への委託事業の中に総合学習の予算があった。小学校からの希望で出前講座を行う事業があり、9校で行った。障害のみならず、高齢者理解などの項目もあった。ひ

とどきの和とは別で時間をとって行っている事業のため、そちらも報告すべきでないか。市民企画講座については、障害福祉課から打診し定期的にやるべきではないか。新しいものを考案するような進め方を来年度は検討してほしい。

【事務局】

総合学習については、社協に確認しつつ報告していけたらと考えている。市の取組として、今年度は、先ほどご報告した事業者への理解促進研修などに取り組んだところ。また、美術作品展に絡めて理解促進を深める取組む方法もあると考えている。いただいた意見を踏まえて今後の取組を検討していく。

・ひととどきの和で知的障がい者のことも伝えたい。毎年2校は少ないためより多くの学校でできるように学校と協力してほしい。合理的配慮等の事例集リーフレットはルビと文字が小さいため大きくしてほしい。みんなの美術作品展では、オープンスタジオをを使うことから当事者とともにも盲導犬や点字、車いす体験を行ってほしい。

【事務局】

ひととどきの和は学校と社協で調整をしているため、今回いただいた意見をお伝えしていく。毎年小学校2校ではあるが、授業の兼ね合いでさらに増やすことは難しい部分がある。そこで学校の総合学習の時間で福祉体験学習として「障害」の項目を選んでもらえるようアピールしていきたい。リーフレットの意見については、いただいた意見について、できる限り工夫していきたい。美術作品展についても意見としていただき、どんな形で実現していくか実行委員会でも検討していく。

・事業者向け出前講座を病院でも行う予定、市内事業所で取組が広がっていくといい。庁舎管理の整理について当事者の意見を取り入れようしてもらえることはありがたい。

・ひととどきの和は、中学校や大学にも周知してみてもどうか。個人的には中学校2校、高校2校をイメージしている。合理的配慮等の事例集のリーフレットについては、色が薄いので、太くはっきり印刷してほしい。

【事務局】

年間2校の輪番制で小学校側にご協力いただいている。福祉体験等学習メニューについて、中学校や高校などでも活用してもらえよう周知していきたい。

・みんなの美術作品展について。子供が通ってくる施設で働いているが出展を行っている。障害の有無にかかわらず参加できる作品展のため参加しやすい。子どもが出展し、実際に鑑賞することが子供の達成感につながっている。障害の有無にかかわらず参加できる取組が増えていくといい。

・聴覚障がいを持つ立場で考えを話したい。聞こえる方は声でコミュニケーションをとれるが、聞こえない方はコミュニケーション障害もある。通訳者がいることでコミュニケーションをとれていることをわかってもらいたい。

5 その他

【事務局】

令和7年1月から多摩市手話言語条例を施行している。来年度から毎週水曜日午後障害福祉課窓口到手話通訳者にきてもらい、通訳してもらう取組を始める。

- 本日の協議会は終了とする。

【事務局】

今年度は今回で最後、来年度は2回開催予定。初回は7月を予定。